

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公表番号】特表2014-523996(P2014-523996A)

【公表日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-050

【出願番号】特願2014-509268(P2014-509268)

【国際特許分類】

F 16 B 12/12 (2006.01)

F 16 B 5/00 (2006.01)

F 16 B 5/06 (2006.01)

【F I】

F 16 B 12/12 B

F 16 B 5/00 E

F 16 B 5/06 J

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1パネル(1)及び第2パネル(2)を備え、前記第2パネル(2)が前記第1パネル(1)に対して本質的に垂直に変位される時に、前記第1パネルと前記第2パネルとの間の機械的なロックを達成するために、前記パネルが互いに対して本質的に垂直に配置される時に、前記第2パネルのエッジ(16)が、前記第1パネル(1)の溝(6)内に挿入可能である、という長方形状のパネル(1、2)として形成された1組の家具の構成要素であって、

前記エッジ(16)は、舌部溝(5)を有すると共に、前記溝(6)は、別個かつ柔軟な舌部(3)を有し、

前記第1パネル(1)の主平面(MP)に対して垂直な第1方向において前記パネルを互いにロックするため、前記別個かつ柔軟な舌部(3)は、前記舌部溝(5)内に挿入可能であり、

前記第1パネル(1)の前記主平面(MP)と平行な第2方向において前記パネルを互いにロックするために、前記第2パネルの前記エッジ(16)は、前記第1パネル(1)の溝(6)と協力して動作するように構成されており、

前記別個かつ柔軟な舌部(3)の長さ方向は、前記エッジ及び/または溝(6)と平行に延びており、

前記溝(6)は、開口と、2つの側壁(6b、6c)と、底部(6a)と、を有しており、

前記別個かつ柔軟な舌部(3)は、挿入溝(4)内に配置されており、

前記別個かつ柔軟な舌部は、前記挿入溝(4)内に取り付けられる内側部分(9)と、前記挿入溝の開口の外側に延伸する外側部分(10)と、を有しており、

前記別個かつ柔軟な舌部(3)は、ロック中に、前記挿入溝(4)の底部に向かって内向きに、及び、前記舌部溝(5)内へ外向きに、変位可能であり、

前記挿入溝(4)は、前記開口が前記挿入溝(4)の内側部分よりも前記第1パネル(

1) の前記主平面 (MP) に近い状態で、上向きに傾けられていることを特徴とする1組の家具の構成要素。

【請求項2】

前記柔軟な舌部は、前記内側部分と前記外側部分との間に位置された2つの対向する変位面 (3a、3b) を有し、

前記柔軟な舌部 (3) の前記2つの対向する変位面の各々は、ロック中に、前記挿入溝 (4) の前記底部に向かって内向きに、及び、前記舌部溝 (5) に向かって外向きに、それぞれ、前記挿入溝の上方壁及び下方壁に対して変位可能であることを特徴とする請求項1に記載の1組の家具の構成要素。

【請求項3】

前記挿入溝 (4) は、その下方部分の延長線Eが前記溝 (6) の開口の前記外側部分に、または、それより外側に位置するように傾けられていることを特徴とする請求項1または2に記載の1組の家具の構成要素。

【請求項4】

前記第2パネル (2) が前記第1パネル (1) の溝 (6) 内に挿入される時にパネル本体が前記溝 (6) の開口 (27、28) の一方部分または両方部分と重なるように、前記第2パネルは、前記パネル本体 (2) よりも小さな厚みを有する外側エッジを有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項5】

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) の内側部分 (9) は、前記別個かつ柔軟な舌部 (3) の前記長さ方向に延伸する1つまたは2つ以上の柔軟な突出部 (8) を有することを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項6】

前記挿入溝 (4) は、前記第1パネル (1) の前記溝 (6) 内に形成されていることを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項7】

前記挿入溝 (4) は、前記第2パネルの前記主平面に対して、約10°～45°の角度で傾けられている

ことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項8】

前記パネルは、互いに離された少なくとも2つの別個かつ柔軟な舌部 (3) を有することを特徴とする請求項1乃至7のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項9】

前記溝 (6) は、パネルの一部に沿って延びる部分的な溝として形成されていることを特徴とする請求項1乃至8のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項10】

前記パネルには、前記第1パネル (1) の前記主平面 (MP) と平行にパネルをロックするためのロック要素 (12) 及びロック溝 (14) が設けられていることを特徴とする請求項1乃至9のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項11】

角部分において前記隣接する外側パネルエッジ (17、18) は、前記パネルの前記主平面 (MP) に対して内向きに傾けられている

ことを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項12】

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) は、前記舌部溝 (5) に対して予張力でロックされている

ことを特徴とする請求項1乃至11のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

【請求項13】

前記別個かつ柔軟な舌部 (3) は、射出成型樹脂材料から形成されている

ことを特徴とする請求項1乃至12のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

**【請求項 1 4】**

前記第1パネル及び／または前記第2パネルは、エッジ部分または溝部分を形成する別個の材料（24、25）を有する

ことを特徴とする請求項1乃至13のいずれかに記載の1組の家具の構成要素。

**【請求項 1 5】**

前記別個の材料は、箔で被覆されている

ことを特徴とする請求項14に記載の1組の家具の構成要素。